

原稿校了後の前兆変化について

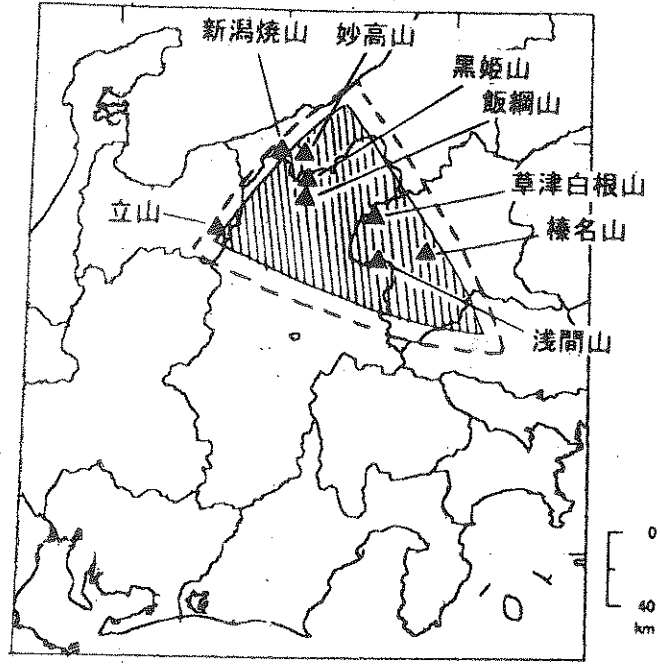
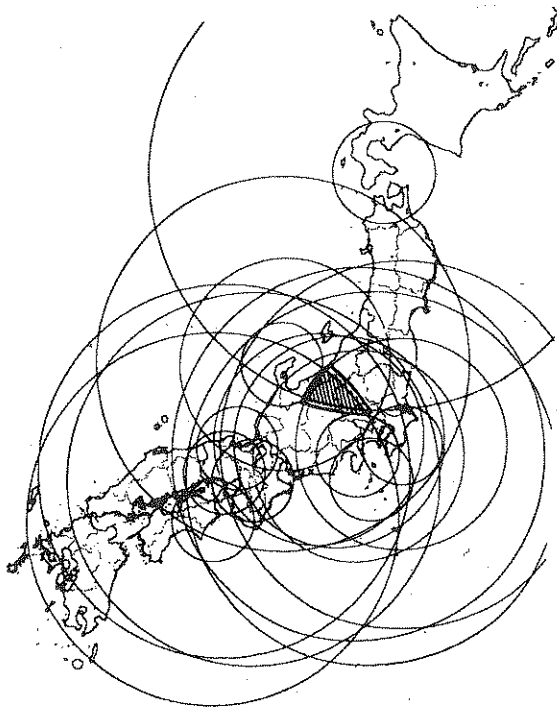
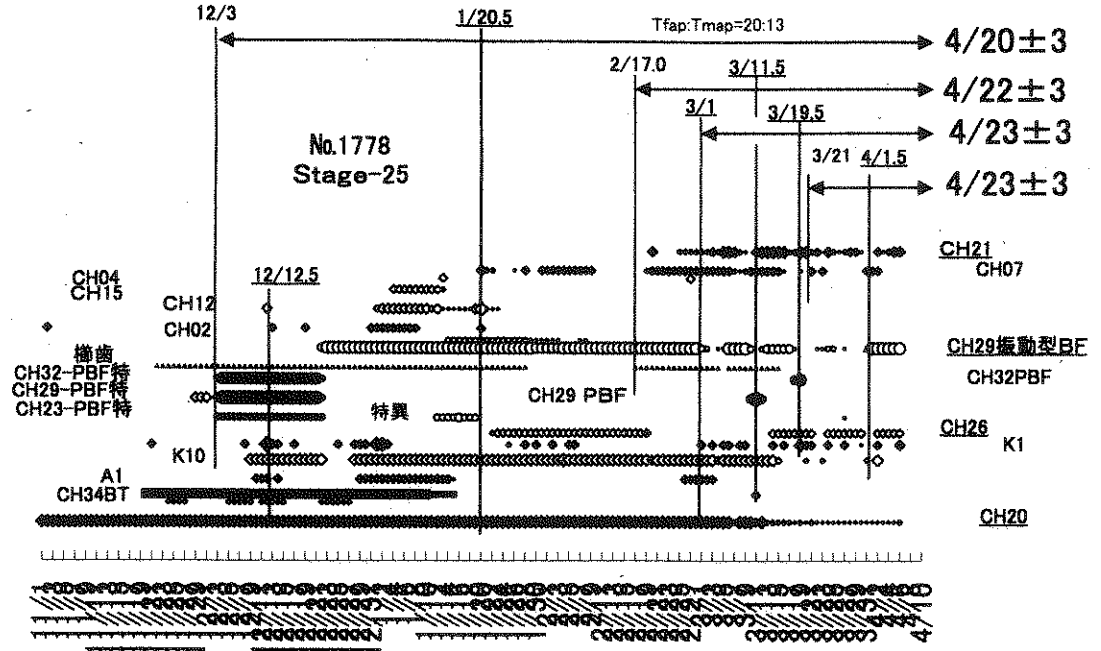
八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
 Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期前兆続報 前兆再出現から近日中発生の可能性否定
 前兆関係見直しで 4/23±発生の可能性有

No.1778長期継続特殊前兆の続報です。

前情報段階では、最も早い場合の発生の可能性として04月07日±2 が計算できることを記しました。実際一時主な前兆は八ヶ岳のCH07のみになりましたが、4/01に小極大が認められ、本日も前兆が継続出現しています。

仮に近日中に発生となる場合でも、既に終息していなければならない前兆も継続中のため、近日中発生の可能性は否定できません。あらためて前兆の初現、極大関係を見直し、表題のとおり4/23±発生の可能性が計算できます。今後の前兆終息で確認検証し続報予定です。



No.1778前兆からの推定

- ◆推定領域：上図斜線領域内付近の可能性有
- ◆推定規模：M7.8±0.5 震源浅い火山近傍地殻地震の可能性
- ◆推定時期：早い場合=4月23日±2
- ◇推定発生時刻：午前9時30分±1 (又は午後4時±3時間)

No.1778前兆以外、他の大型地震、首都圏直下、南海トラフ等での巨大地震の前兆は一切観測されておりません。火山噴火前兆も観測されておりません。